

Tetramorium caespitum

(Linnaeus, 1758)

小さくて丈夫、成長も速い種です。ただし巣は脱走防止が必須です。



ひと目でわかる情報



巣の温度

21-27 °C

巣の中



巣の湿度

50-60 %

巣の中



休眠

5-8 °C

10月-3月



結婚飛行

6月-8月



働きアリ

2-4 mm

どれも同じ大きさ



女王

6-8 mm

女王は1匹



コロニーの規模

まだデータがありません

成長速度：速い



脱走リスク

高い

脱走の名人です。密閉したアウトワールドと、しっかりした脱走防止の対策を用意しましょう



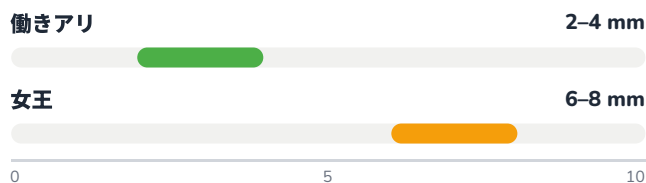
1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。



同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

1. アクリル製の巣
2. 試験管セットアップ
3. 自然再現型のセットアップ

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ⚠ 本格的な脱走の名人で、脱走を完全に防げるセットアップが必要です
- ⚠ 冷蔵庫などでの低温の休眠が必要です
- ⚠ 働きアリが刺すことがあります



私のコロニーから

ヒント

成長の速い種なので、タンパク質をたっぷり与えましょう。最初の働きアリが出てきたら、定期的に昆虫を与えると女王アリとブルードの栄養になります。

注意

すき間を見つける名人なので、層がびったり合うアクリル製か試験管ベースの巣を選び、自然派の容器ならすべての継ぎ目を確認してください。